

辺野古基地 設計変更を不承認



沖縄県・辺野古

沖縄県名護市辺野古の米軍新基地建設をめぐり、玉城デニー知事は11月25日、防衛省沖縄防衛局が昨年4月に提出していた設計変更申請を不承認とし、同局に通知しました。

埋め立て区域北側の大浦湾側で広大な軟弱地盤が確認されたことから、防衛局は地盤改良のために砂くい7万本以

上を打ち込むなどの設計変更を申請していました。県は1年半にわたって審査を実施。安定性についての根拠が示されていないと判断しました。

知事は新基地の埋め立て工事は「すべて中止すべき」と強調し、今後も日米両政府に、米軍普天間基地の速やかな閉鎖・返還を求めていくと訴えました。

「判断を断固支持」志位委員長が表明

共産党の志位和夫委員長は「辺野古新基地建設は計画そのものが破たんしている」と指摘。政府は

重く受け止めて変更申請を取り下げ、新基地建設の中止、普天間基地の無条件撤去をと求めました。

2022年参院選の予定候補

<p>〔比例代表〕</p> <p>大門みきし</p> <p>参院議員4期</p>	<p>〔選挙区〕</p> <p>たつみ コーターロー</p> <p>大阪(定数4)</p>	<p>こむら潤</p> <p>前参院議員(1期)</p> <p>兵庫(定数3)</p>	<p>たけやま ささこ</p> <p>党兵庫県国政委員長</p> <p>京都(定数2)</p>	<p>元長岡京市議(5期)</p>
---	--	--	--	-------------------

制度解説

参院選挙
投票方法

比例代表は「**日本共産党**」と書きます
選挙区は「候補者の名前」で

参議院比例代表は政党名でも個人名でも投票できます

憲法 9条 改憲許すな

改定へ危険な新局面

岸田首相が改憲へ前のめりの発言をしている中、共産党の志位和夫委員長は、「9条改憲へ大変危険な新局面が生まれている」「9条改憲を許すな」の一点で草の根からの国民的大運動を」と呼びかけました。(11月18日)



記者会見する志位和夫委員長

岸田首相は、憲法改定の実現に向け「党内の体制を強化すること」「国会における精力的な議論を進めること」を指示するなど改憲発言を繰り返しています。「敵基地攻撃能力の保有」、GDP(国内総生産)比2%への軍事費の増額など、自衛隊を海外派兵型の軍隊につくりかえる大軍拡も進められようとしています。維新の会と国民民主党が「憲法改定

論議の加速」で合意し、自民党の改憲策動を後押ししていることも重大です。

9条を改定し、海外で何の制約もなく「戦争する国づくり」をすすめる、東アジアの平和と安定に重大な逆流と危険をつくりだすたくらみを、絶対に許してはなりません。

「9条守れ、憲法生かせ」を掲げ、草の根からの国民的大運動を起こしましょう。

草の根から大運動を **日本共産党**

近畿民報

2021年12月 No.1(第484号)
発行/日本共産党国会議員団
近畿ブロック事務所

〒537-0025 大阪市東成区中道1-10-10ホクシンビル102号
Tel.06(6975)9111 Fax.06(6975)9115
Eメール:jcpkinki@cronos.ocn.ne.jp

※日本共産党は以上の見解を発表しました。